

全身浮腫と体重増加

35 歳男性 書籍 894 頁参照

現病歴：3 週前に 39°C 台の発熱・咽頭痛・関節痛・右頸部の有痛性のしこりが出現した。近医を受診したところインフルエンザ検査は陰性で、症状は 4~5 日で軽快した。5 日前より下腿の浮腫と尿量減少に気づいた。体重が 66 kg から 78 kg に増加し、歩行困難を自覚したため、外来を受診し入院となった。

既往歴：帯状疱疹(24 歳)。

生活歴：喫煙は毎日 20 本を 20 歳から 2 年間、飲酒歴はビール 500 mL を毎日。

家族歴：母親が 40 歳時に腎臓病を指摘されたが詳細は不明。

身体所見：意識は清明。身長 177.5 cm, 体重 78.1 kg, 体温 37.1°C, 脈拍 56 回/分(整), 血圧 163/86 mmHg, 呼吸数 18 回/分。両眼瞼に浮腫(+), 眼瞼結膜貧血(+), 眼球結膜黄染(-), 咽頭発赤(-), 扁桃腫大(-)。右後頸部に 1 cm 大のリンパ節(無痛性)を認める。心音・呼吸音に異常なし。腹部は平坦・軟で肝・脾・腎触知せず。両下肢に圧痕性浮腫を認める(図 1)。

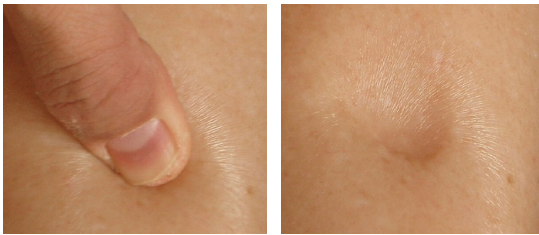


図 1 前脛部の圧痕性浮腫

指で数秒間強く押したあとに圧痕が残るのが圧痕性浮腫(pitting edema)である。脛骨前面が検査に適している。

■ 診断の進め方

特に見逃してはいけない疾患 (考えられる疾患をできるだけ挙げる)

ここに記入

頻度の高い疾患 (考えられる疾患をできるだけ挙げる)

ここに記入

■この時点で何を考えるか？ 医療面接と身体診察を総合して考える点

(可能性の高い疾患とその理由、除外診断とその理由などを挙げる)

ここに記入

診断仮説 (仮の診断) (可能性が高いと考えられる疾患を挙げる)

ここに記入

■ 必要なスクリーニング検査 (診断を絞り込むために必要な検査を挙げる)

ここに記入

■ 検査結果

尿定性：蛋白(3+)，糖(-)，潜血(3+)，比重 1.020.

尿沈渣：赤血球数 30~49/HPF，白血球数 5~9/HPF，硝子円柱(3+)，上皮円柱(+).

血液生化学：TP 6.2 g/dL，Alb 3.2 g/dL，UN 20 mg/dL，Cr 0.99 mg/dL，糸球体濾過値 70.7 mL/分.

血清：CRP 0.05 mg/dL，C₃ 5 mg/dL 未満，C₄ 7 mg/dL，CH₅₀ 10 U/mL 未満，ASO 370 U/mL，ASK 20,480 倍，抗核抗体 40 倍未満，抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)・抗好中球細胞質プロテイナーゼ 3 抗体(PR3-ANCA)陰性.

胸部 X 線・心電図検査：特に異常なし.

眼底に糖尿病性病変なし.

診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

ここに記入

■ 診断確定のために（必要な追加検査などを挙げる）

ここに記入

ここに記入

診断 (診断結果を記入)

ここに記入

■治療の基本方針 (診断を受けて必要な治療を挙げる)

ここに記入